



Time:14:00時点

※前回報:7月5日報 Vol:18

統括部 物流・調達課

今週のTOPIC

中国コロナ規制再開と世界的景気後退懸念で3か月ぶりに先物100ドル前後の水準

■ [7月CP] プロパン:725\$ (前月比▲\$25)、ブタン:\$725 (前月比▲\$25) ■ [6月MB平均]:\$632 (前月比▲\$7)

エネルギー市場

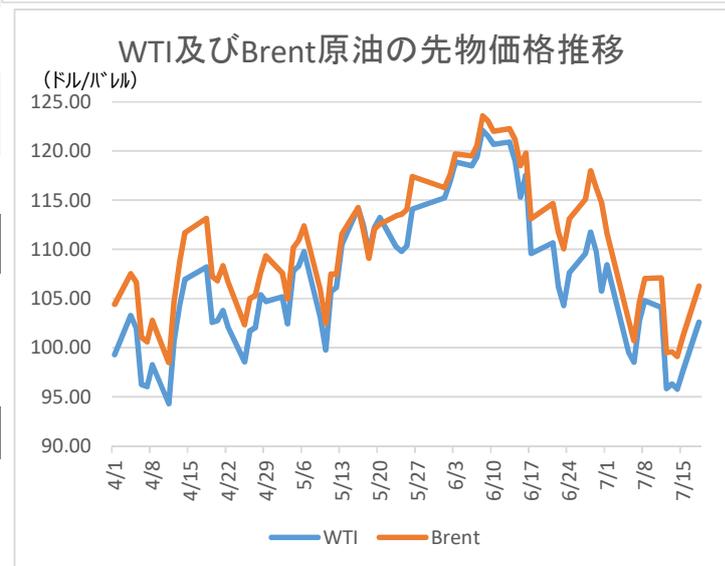
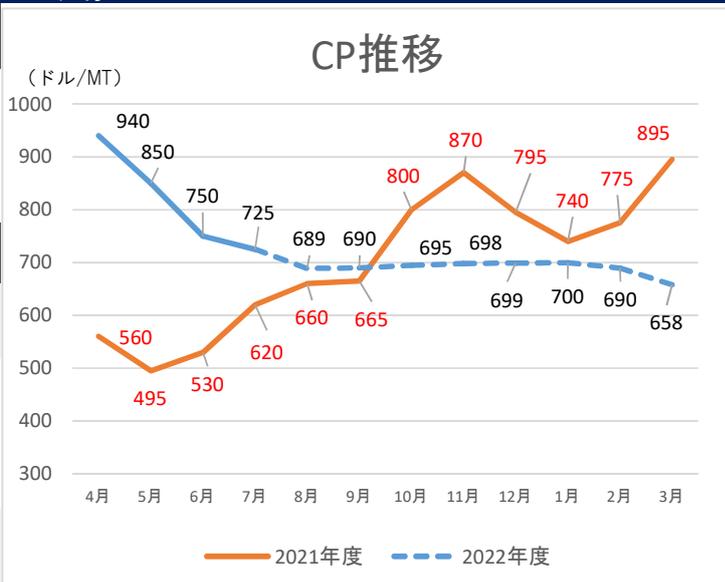
原油 先物 (USD/BBL)	今回	前回	前环比
NY/WTI (8月)	102.60	105.76	▲3.16
北海Brent (9月)	106.27		

LPガス 先物 (USD/MT)	AL熱量換算比			
プロパン予想値	今回	前环比	今回	前环比
CP 8月	689	▲34	78%	+3%
MB 7月	598	▲30		

プロパン	9月	10月	11月	12月	1月
CP先物	690	695	698	699	700
プロパン	8月	9月	10月	11月	12月
MB見通し	590	591	591	592	592

外航フレート (USD/MT)	7/15時点	※前回	前环比		
中東-日本	68.5	69.5	▲1.0		
米国-日本 (パナマ運河経由)	102.0	105.0	▲3.0		
為替/TTS	7月予測	6月	5月	4月	
USD/円	20日↗	137.08	132.08	130.16	124.88
	末日↗	138.17	134.93	129.81	126.98

LPG元売り8月改定幅予測値 (円/t)	プロパン	ブタン
ジャパンガスエナジー	改定レンジ: ▲400~▲1,000	▲100~▲700
ENEOSグローブ	改定レンジ: ▲1,400~▲2,000	▲1,600~▲2,200
アストモスエネルギー	改定レンジ: ▲2,300~▲2,900	▲2,100~▲2,700
ジクシス	改定レンジ: ▲1,300~▲1,900	▲2,600~▲3,200



マーケット概況			
	今回	※前回	前环比
NYダウ (US\$)	31,072.61	29,927.07	+1,145.54
S&P500 (US\$)	3,830.85	3,666.77	+164.08
米国債券10年利回り (%)	2.969	3.237	▲0.268
日経平均 (円)	26,931.33	25,963.00	+968.33
TOPIX (円)	1,900.37	1,835.90	+64.47
金 (Gold) 先物 (US\$)	1,707.65	1,852.80	▲146.15
VIX恐怖指数 (%)	25.30	31.98	▲6.68

当レポートの内容は伊藤忠エネクス(株)ホームライフ部門 統括部/物流・調達課の発行日における見解を記したものであり、その正確性、完全性を保証したものではありません。また本レポートの無断掲載・転送・改変を禁じます。

今週のTOPIC

中国コロナ規制再開と世界的景気後退懸念で3か月ぶりに先物100ドル前後の水準

原油概況

★供給不足懸念と景気後退懸念が両立した不透明な状況の中、価格が乱高下

影響度

強気・
上昇要因

- ① 米バイデン大統領の中東訪問、期待された原油増産の確約得られず
- ② 英議会は北海で石油生産する企業の利益に25%追加課税する法案承認
- ③ ロシア裁判所はCPCに30日間操業停止命令、原油供給懸念強まる
(CPC=カスピ海パイプライン・コンソーシアム)

弱気・
下降要因

- ① 中国の複数都市で新たな新型コロナ規制導入、需要減退懸念
- ② 米石油在庫統計で原油480万バレル、ガソリン300万バレル増加
- ③ インドのロシアからの石油輸入が6月に急増、過去最高を記録

LPガス概況

★不需要期と原油市況の影響で8月CP700ドルを割り込む予測

(強気)

インド、インドネシアの6月度消費量は前月比で増加

(弱気)

- ① 中国コロナ再拡大による規制の再開で需要減少の懸念
- ② 米国のプロパン在庫は前週比5.3%増加し需要の弱さを反映

「北海ブレントとは」

- ・北海ブレント（ブレント原油）は、「ロンドン原油」とも呼ばれ、英領の北海油田で生産される軽質低硫黄の原油をいいます。
- ・軽油やガソリンへの精製が容易であり、海上輸送も容易なため人気がありますが、油田の気象条件が悪いため、生産コストが高めになります。
- ・北海ブレントは欧州の指標原油となっており、取引高や流動性の高さから世界の原油価格の形成にも大きな影響を及ぼしています。